

正倉院裂

金襴



花園文金襴

錦



布の道標

こぎれ

古裂

に宿る技と美

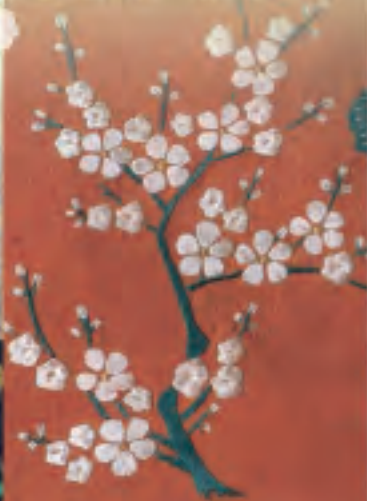
ぎをん 齋藤コレクション

辻ヶ花



花文辻ヶ花

慶長裂



桜文赤地に伊文織

繡箔

Fabrics Tracing Passageways: Textiles from the SAITO Collection

平成29年
6月17日(土) ▶ 8月20日(日)

※一部展示替有り

主催：細見美術館 京都新聞 特別協力：ぎをん 齋藤 協力：関西学院大学博物館
休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

入館料：一般1,200円(1,100円) 学生1,000円(900円)

※()内は20名以上の団体料金

会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555

ご優待 一般1,200円→1,100円 学生1,000円→900円 ※本紙にて4名様まで100円引。

繡箔に金文織

桜文赤地に伊文織

布の道標 みちしるべ

古裂に宿る技と美

ぎをん 齋藤コレクション

平成29年 6月17日(土) ▼ 8月20日(日)

※会期中、展示替有り(7月10日)

今に伝わる染織遺品は、その時々最高の素材や技術を駆使して生み出され、権威や富を象徴するものでもあります。本来の役目を終えた小さな断片「裂(きれ)」は「古裂(こぎれ)」とよばれ、茶の湯の世界をはじめ、美術工芸品を守り、引き立てるだけでなく、裂そのものが芸術品として永く大切に愛で伝えられてきました。

京呉服の老舗「ぎをん 齋藤」は江戸時代から京都・祇園に店を構え、本年で創業176年を迎えます。7代目・現当主の齋藤貞一郎氏は、染織コレクターとしても知られ、蒐集品に学んで精力的に古典の技法や意匠の復刻に取り組まれています。

本展は、そのコレクションから、中国唐代に遡る貴重な遺品や、民間に流出した最大級の正倉院裂として近年、話題を呼んだ「唐花文錦」をはじめ、中世の綾・錦から近世の辻が花や慶長裂、友禅など東洋染織史を概観できる染織芸術品の数々を紹介するものです。

横に染織文脈長観

阿弥陀様字刺繡縮緬

骨持ち細に花輪違い文縮緬

御所車に葛巻縮緬小袖

牡丹連唐草に唐子文縮子

会期中のイベント *事前申し込み制

ギャラリートーク 無料 ※別途入館料が必要

6月18日(日) 午後2時～

講師：河上繁樹氏

(本展監修・関西学院大学文学部教授・
関西学院大学博物館 館長)

*第40回アートキュープレクチャー 無料

「古裂に、学ぶー染織史から見た
〈ぎをん 齋藤コレクション〉」

8月6日(日) 午後2時～

講師：河上繁樹氏(同上)

会場：京都国立近代美術館 講堂

*茶室で愉しむアートサロン 有料

6月30日(金) 午前11時～・午後2時～

講師：伊藤京子(当館 主任学芸員)

イベントの詳細はホームページをご覧ください。



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
- 市バス「岡崎公園 美新館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
- 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

<背景>二重葛牡丹唐草文印金 / 紋子手更紗
「高」に梅文小袖裂 / 狂草手金更紗

※図版は、すべて部分

次回展
予告

細見コレクション名品選
麗しき日本の美 - 秋草の意匠 -

8月26日(土)
-10月9日(月・祝)

細見美術館